

# korekara

2013  
WINTER  
Vol.

15

風に、ふれる

知って  
いました?

身近で多彩な  
まちの「みどり」

1 散策路の整備



与野本町駅付近の新幹線沿線  
(中央区)

JR東日本の協力を得て、新幹線沿線を公園化し、緑化を行っています。

2 ベランダ緑化



さいたま新都心郵便局  
(中央区)

建物のベランダを階段状にすることで、高い木が育ちやすい環境を実現しています。

3 駅前の緑化



宮原駅前  
(北区)

まちの玄関口となる重要な空間として、近隣住民のボランティアにより良好な維持管理がされています。

4 河川施設の緑化



大宮第二公園  
(芝川第七調節池) (大宮区)

河川や湖沼の水面は、ヒートアイランド現象の緩和に役立ち、心地よい風を市街地に送り込む役割を果たしています。

5 屋上緑化



複合公共施設「コムナーレ」  
(浦和区)

ビルの8階から10階の一部は、美しい庭園になっています。

6 道路の緑化



埼玉通り(国道463号)の  
ケヤキ並木(中央区)

地域のシンボル、緑のネットワークの軸として安全に努め、低い木とあわせた緑化を推進しています。

7 在来種を利用した緑化



大宮聖苑  
(見沼区)

建物自体が見沼田圃に一体化したようなイメージで、緑量にあふれる景観を整備しています。

8 壁面緑化



さいたまスーパーアリーナ  
(中央区)

外周面に、灌水装置を組み込んだプランターを固定し、ツル性の植物を植えています。

9 駐車場の芝生緑化



見沼自然公園  
(緑区)

駐車場全体を芝生と芝生保護材で緑化し、緑の駐車場にしています。

10 緑のオープンスペース



市役所のポケットパーク  
(浦和区)

夏場は、階段状の広場に水が流れ、子どもたちの遊び場になっています。

緑は心の安らぎを与えるだけでなく、夏は涼しく、多様な生き物を育み、健康で快適な生活環境を生み出します。今号は、さいたま市が目指す緑あふれるまちについてお伝えします。

緑が大切にされている都市を目指し  
身近な緑を守り、つくり、育てます

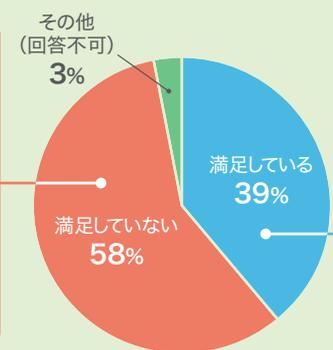
さいたま市では、「身近で多様な緑が大切にされている都市」を実現するため、今ある緑を守り、育て、新たな緑をつくることに努め、暮らしの中に緑を実感できるまちづくりを進めています。見慣れたまちの中にも、街路樹や公園、屋上緑化や市民花壇など、緑はさまざまなおこころで育まれています。下記の読者アンケートとあわせ、さいたま市が取り組む「みどり」をご紹介します。

「korekara」では、市民の声を誌面に反映させるため、読者モニターの方々にアンケートのご協力をいただいています。今回は、さいたま市の「みどり」について満足しているかどうかと、その理由についてうかがいました。結果は、「満足していない」が半数以上。皆さんは、どう感じていますか。

あなたは、さいたま市の「みどり」に満足していますか？

モニター数83人、有効回答数71人  
不回答数 12人

・東京と比べて、緑に関しては良く整備されていると思います。  
・特に埼玉通りの街路樹は、沿道の住民がきちんと落ち葉を掃いていて、意識として素晴らしいと思います。  
・氷川参道や、北浦和のケヤキ並木は素晴らしいと思います。  
・ゴーヤのカーテンをよく目にします。公共の公園は、トイレや遊具などよく管理されていると思います。  
・自宅周辺の公園や個人の庭を見て、癒されています。



・氷川参道のような大きな環境は整備されている反面、小さな公園には木が数本あるだけで、緑とはいえないですね。ここを何とかしてほしいです。  
・住宅地には、家がギチギチに建っていて、緑が少ないのが残念。街路樹の緑はメンテナンスが大変なので、手間を惜しまぬ覚悟が必要だと思っています。  
・市街地には、まだまだ緑が少ないと思います。もともと緑豊かなところを整備するのではなく、生活に根ざした住宅地での緑化に力を注いでほしいです。

平成24年度  
さいたま市民意識調査  
の結果では…

さいたま市のイメージについて聞いたところ、在住者、在勤者とも、「自然の豊かなまち」が第4位になっています。



## はぐく 育む庭 さいたま市立 谷田小学校



▶休み時間になると、子どもたちはいっせいに芝生で遊びます。



谷田小学校教頭  
長谷川和俊先生

校庭が芝生になったおかげで、擦り傷や怪我が少なく安全になりました。また、砂埃が抑えられるので、周辺にお住まいの方にも迷惑がかりません。「芝生が自慢!」と、児童は芝生を学校の誇りだと思っています。

芝生手入れの活動日には、30人くらいの保護者ボランティアが集まります。芝生の校庭で、冬でも裸足で走ったり寝転んだりしているようで、枯芝だらけになって帰ってきます。運動会やピクニック給食も楽しそうです。



PTA会長  
三溝雅緒さん



▲管理は、掃除や雑草取りのほか、水やり、芝刈りなど。地元の金澤美智雄さんを中心に皆で支えています。

花と緑が好き。活動に参加して、芝生の管理を地道にやるのが大切だとわかりました。学校に任せているだけでなく、皆で良くしていきたいと思っています。



保護者  
西城戸真由香さん

## さいたま市は、「花や緑の豊かなまち」を目指しています!

今号の特集テーマは、まちの「みどり」。さいたま市では、都市の環境で重要な役割を果たしている水と緑のネットワークの形成を図るといふさいたま市の都市計画に合わせて、緑の将来像を描く「緑の基本計画」を策定しています。そして、「花や緑の豊かなまち」を実現するため、身近な緑を増やす「みどり倍増プロジェクト」を実施しています。

普段歩いているまちの中でも、新たに気づかれた「みどり」が多かったのではないのでしょうか。ちょっと視点を変えると、日々の生活でも「みどり」に触れる機会は意外に多いのかもしれない。

あなたも、まちの「みどり」を増やす活動を始めてみませんか。

問合せ みどり推進課 ☎829-1423



## 日々、「みどりを感じている人」に聞いてみました!

さいたま市の「みどり」について、皆さんはいろいろな感じ方をしていることがわかりました。さいたま市でも、緑あふれるまちを目指し、市民の皆さんとさまざまな取り組みをしています。そこで、日々「みどり」の管理や活用、利用をされている方に、実際に触れている「みどり」について聞いてみました。



## 空の森 さいたま新都心 けやきひろば

▲建物2階の人工地盤上にあるケヤキの森。まるで、空に浮かび上がっているようです。



株式会社さいたまアリーナ  
総務部総務課  
鈴木一紀さん



企画室企画管理課担当課長  
種谷浩伸さん

### Q1 どのように管理しているのですか?

土に栄養分が多かったことや、<sup>かんすい</sup>灌水装置ですみずみまで行き渡るため、平成12年の完成時は高さ8mだった木が、今では13~15mまで成長しました。むしろ成長を抑制しながら育てています。きれいなアーチを描くよう、水やりの頻度を抑えて樹形を保っています。

管理は、自動タイマーによる水やり、<sup>せんてい</sup>剪定、消毒のほか年1回は根鉢を開けて中を点検します。

落ち葉は年間20トン。大量の落ち葉はすべて見沼の農地に運んで再利用しています。

### Q2 けやきひろばの魅力は?

これだけの広さの緑は、アスファルトで作られたまちにはない空間です。お弁当を食べたり子どもと遊んだり、四季を感じることができる憩いの場になっています。

けやきひろばならではのイベントも好評です。「水かけまつり&ワールドフェスタ」では、真夏の暑いときでも木陰があるので何時間でもいられますし、春と秋の「ビール祭り」では、外で飲むビールが心地よいと評判です。



▲幻想的なイルミネーション。

また、20万球のLEDで包まれる冬のイルミネーションは、並木道やオブジェとは異なり、森が彩られているように、木々を面で見られる珍しいスポットです。ちなみに今年の色は、青をメインに白とキャンドル色を織り交ぜて装飾しています。

人工地盤上に220本のケヤキ人々が集い、自然と触れ合う心地よい空間

さいたま新都心のシンボル「けやきひろば」の広さは約1ha。さいたまスーパーアリーナに隣接する2階の人工地盤上には、埼玉県とさいたま市の木、ケヤキを220本植えた森が広がります。都市にありながら四季を通じて人々が集い、自然と触れ合う心地よい空間です。

### 緑が多いので、一年中利用しています

近くに住んでいるため、午前午後、買い物など日に1~2回は来ています。イベントはいつもチェック、一年中利用しています。

岩間恭子さん  
奏伶ちゃん



### まちの人の声

### 緑が揺れて、風を感じます



矢作修子さん

けやきひろばで仕事をして3年。イタリア料理店に勤めています。お客様は、外を眺めてホッとされている様子で、「癒される」といわれます。昼は、緑が揺れて、風を感じることができます。

# 誕生「サウスピア」

## 武蔵浦和の新しい顔

平成25年1月4日(金)、JR武蔵浦和駅周辺の再開発地区の一角に、さいたま市の複合施設「サウスピア」がオープンします。どのような施設があり、どのように工夫されているのかをご紹介します。



### サウスピアのこだわり

「サウスピア」では、より多くの人が利用しやすいよう、ユニバーサルデザインに配慮して、安全性や利便性を高めるためにさまざまな工夫をしています。また、自然エネルギーの有効活用や建物の熱負荷低減など、エコへの取り組みも行っています。



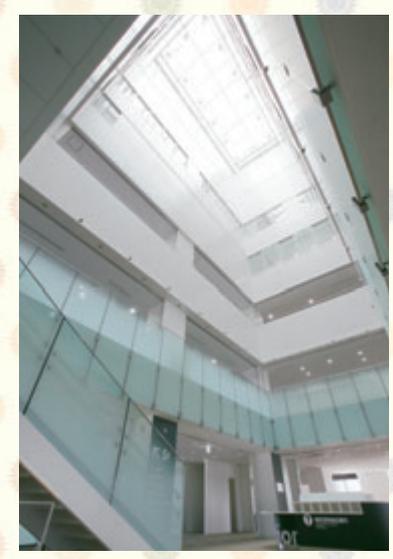
▲大きな文字とテーマカラーの赤が、利用者を誘導するコミュニティセンター。▶壁一面がガラス張りで見晴らしのよいレクリエーションルーム。



▲エレベーターホールの案内板も文字が大きく、行き先が一目でわかります。

建物に入ると、文字や記号が大きく見やすい案内板が目を引きま。区役所は黄色、図書館は緑など施設ごとにテーマカラーも決められ、各フロアにはそれぞれの色が効果的に用いられています。床は静音性を備えながら、車椅子でも動きやすいカーペットを採用。多機能トイレや授乳室も各施設に設けられています。

### 便利・快適



### エコ仕様

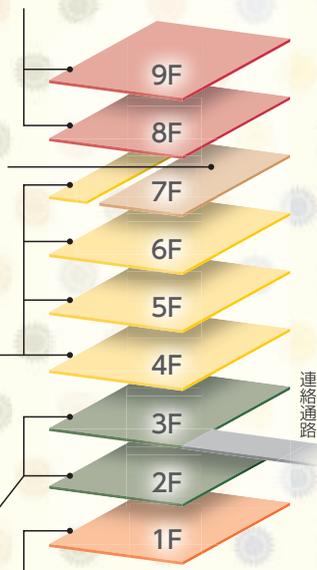
「サウスピア」は、4階から屋上にかけて建物中央が吹き抜けになっています。吹き抜けを通して自然光を取り込み換気を行うことで、照明や空調コストの削減を図ります。屋上には太陽光パネルを設置し、発電した電力を施設内で使用します。また、建物の熱負荷を低減させるために、屋上や壁面の緑化、西日を和らげるルーバー設置なども行っています。



▲屋上の緑と太陽光パネル。3階ロビーにモニターがあり、発電量を確認できます。◀4階の区役所ロビーから望む吹き抜け。温度を感知して自動的に窓が開閉する換気システムを採用しています。

### サウスピアはこんなところ

「サウスピア」は、武蔵浦和駅西口のロータリーに面しており、1〜9階に南区役所、図書館、子育て支援センター、コミュニティセンター、シニアふれあいセンターが集結します。館内全体に区の花「ヒマワリ」のモチーフがあしらわれています。



#### 武蔵浦和コミュニティセンター(8・9階)

8〜9階のコミュニティセンターには、集会室、防音構造の音楽室やレクリエーションルーム、多目的ホールなどがそろいます。多目的ホールは階段状の客席を壁面に収納でき、フラットな空間としても活用できます。



#### シニアふれあいセンターサウスピア(7階)

これまで南区にはなかった60歳以上の方のための施設です。多目的室、集会室、ホール、陶芸用の窯などがあり、趣味や娯楽を楽しめます。健康相談をすることもできます。



#### 南区役所(主に4〜7階)

現在地の武蔵浦和駅東側から移転し、4〜6階と7階の一部に入ります。フロア中央に吹き抜けを配した、明るくゆったりとした空間です。

#### 武蔵浦和図書館(2・3階)



2〜3階は図書館です。入口は3階だけにして、2階への移動は専用エレベーターを設けるなど、他の施設から独立させ静かに利用できるよう配慮しています。

#### 子育て支援センターみなみ(1階)



南区初の単独型子育て支援施設です。3歳未満の子どもとその保護者が利用できます。事前登録制で子どもの一時預かりも実施します。



▲駅の改札階から図書館のある3階まで、バリアフリーのデッキで結ばれています。中の様子がわかりやすいよう、1〜4階の東西面はガラス張りになっています。

### なるほど!

### 武蔵浦和駅周辺のまちづくり

さいたま市は、市の南玄関にあたる武蔵浦和地区を副都心のひとつに位置づけ、都市基盤整備を進めています。武蔵浦和駅周辺の開発は昭和59年からスタートし、これまで東口駅前広場など数エリアの整備が完了しています。サウスピアが位置するのは、UR都市再生機構が施行する駅西口周辺の第1街区と呼ばれるエリアです。西口駅前広場や環状道路の整備、共同住宅の建設なども行われています。

**都市機能をまとめる**  
公共施設や商業施設、住宅などを集約し都市機能をコンパクトにすることにより、持続可能なまちづくりを目指しています。

**UR・民間事業者と連携**  
事業を円滑に進めるため、実績と信頼性のある民間事業者等と連携しています。それにより資金面でのメリットも得られます。



問合せ 浦和西部まちづくり事務所 ☎861-5905



▲樹形と高さがそろったキンモクセイと、ツツジの連なりが美しい景観を作っています。

一方通行の車道と歩道は、等間隔に植えられたツツジで仕切られており、サツキツツジ、オオムラサキツツジ、クルメツツジの3種類が植えられています。種類によって花の色、大きさ、開花時期が異なるので、それぞれの花の美しさを楽しむこともできます。

この市道I-235号線は、別名「<sup>とうえもんがわ</sup>藤右衛門川通り」と呼ばれ、実は道路の下に藤右衛門川が流れています。藤右衛門川は浦和競馬場内で地上に顔を出し、調節池を経て、川口市の芝川へとつながります。藤右衛門川は江戸時代に水田開発のために芝川までの排水路として作られた川で、工事を行った並木藤右衛門という人物にちなんで名づけられたといわれています。

歴史に思いを馳せて、キンモクセイの香りを楽しみつつ、この通りを歩いてみてはいかがですか？

# こころ・うるおう みどりのみち

キンモクセイの豊かな香りに包まれて…

## 市道I-235号線(藤右衛門川通り・浦和区)

浦和競馬場の北側から駒場運動公園の方角へ伸びている、全長690メートルの一方通行のこの道。両側には均等に旧浦和市の市の木であるモクセイの一種、キンモクセイが街路樹として植えられ、秋の彼岸を過ぎたころには、一帯が甘い香りに包まれます。モクセイは常緑樹で、古くから庭木として親しまれてきました。大気汚染に敏感な木としても知られ、開花と香りの強さがバロメーターにもなるのだそうです。



▲橙黄色の小さな可愛らしい花がたくさん咲きます。香りがいっぱい！



### 「korekara」編集後記

今号のkorekaraでは、まちの中にあるみどりについて取り上げてみました。私自身も今回の取材などを通じて、まちのいろいろな場所に、たくさんのみどりがあることに気がつき、改めて、人や生き物にとって心や体を癒してくれるみどりの空間ってものすごく大切なものだと思います。今号の取材で特に印象に残っているのは、校庭の芝生を維持管理されている先生、保護者、ボランティアの皆さんの活動と校庭を走り回っている子供たちの笑顔でした。

取材に応じていただいた皆さん、本当にありがとうございました。

### ホームページへアクセスを！

「『korekara』WEBサイト」では、誌面の紹介のほか、編集のこぼれ話やまちづくりに関する話題などを随時更新中。ぜひご覧ください！  
また「korekara」は、皆さんの声を反映させた誌面づくりを目指しています。ご意見やご感想、ご要望などもぜひお寄せください。

■あて先:〒330-9588 サイトま市浦和区常盤6-4-4 都市総務課あて  
TEL:829-1394 FAX:829-1979  
Eメール:toshi-somu@city.saitama.lg.jp



さいたま市 korekara

検索